

初めてカラー治療を始める先生

初めてカラー治療を始める先生に色彩診断治療を即実践に対して最初に困るのは一人の場合パワーテストやオーリングなど練習してみるがわからない為、したくても出来ない悔しさ？どうしたら覚えるの？



あまり難しく考えないで次のことを始めて下さい。

① 一人パワーテストがすぐ出来る方法は？

まずどちらの指でも良いですから示指と中指2本指に輪ゴム（1本か2本を2重にする）を第2関節上部に固定して（図参照）

広げるようにします。その時の開閉の強さを何回か開いたり閉じたりしてゴムの抵抗感を記憶してください。一人で行う為、輪ゴムをつけた方の腕は自然体に下げ、輪ゴムをつけない片方で探索棒を持ち指尖百会（中指先端）で反応したものは、開こうとしても重く感じます。この要領です。又練習方法としてゴムをしていない指先を洗剤を入れた水に指先を近づけるとゴムをしている方の指の開きが重く感じます、また電源を入れた携帯電話を実際に耳に当て持ちますとゴムをしている検査指は開き具合が重く感じます。練習を積むとハッキリと開閉がわかるようになります。同じ方法でツボにあたると輪ゴムをつけた指を開こうとしても重く閉じます。そこがツボになります。逆位相の原理で $+ - = 0$ で反応が消失、無の状態になることを意味します。ややこしいことですがよく考えればわかります。原理は同じ事です。

何とか出来るようになれば早速使ってみましょう。何より繰り返すことにより覚えられます。

② 診察に当たって始めに検者や助手が気をつけなければならないことは？

電磁波はパワーテストに影響しますから必ず干渉器を携帯します。それと患者さんの波長を受けますと誤診につながりますから波長を受けない為に同調波防止（ブラックホール）を必ず検者、助手共に貼附します。誰かに同調波の探索棒を持って貰い検者の左右の合谷に探索棒を当ててどちらの合谷が開きにくい（ゴムをした指の開閉が重く感じるか）開きが重く感じたところに（ツボ）同調波防止のカラーを貼付します。

いよいよ診察に入りますよう

診断の時患者さんが身につけている時計や、ゲルマニウム、磁石などのブレスレット、ネックレス等取り外し衣類籠に入れて貰います。周りに携帯電話や金属類など置かないように注意してください。

診断に入る前に

同調波防止

検者、アシスタント

物質と物質を近づけていくと、1番近いところにあるお互いの物質同士がどこかでまず接触します。そのとき、この原子の外側にある電子は、それ自体が持つ波動の性質によって少しずつ相手の原子にしみこんでいきます。

この現象をトンネル効果という。パワーテストの同調波もこの原理です

ブラックホールと磁場の相互作用でエネルギーが生成される。あらゆる物体は、ブラックホールに入ったが最後際限なく中心に向かって吸収される。

最初に基本穴に必要な探索棒として以下が必要になります。

まず ATP の探索棒として 1・5・5GE・10・10GE・15・15GE・20・20GE・25・25GE・30・30GE の中からどれが反応するかを選びます。更に詳しく見るには 23 なら 20+1+1+1 という具合に足しておきます。次ぎに磁気ですが大体最初は 10 から 20 までを見ます 15 くらいが一番多いと思います。ミトコンドリア A パターンは全ての患者様に用います。B・C・D・E は難病に反応しますから馴れてからでいいと思います。更に上達しますとアミノ酸、ミネラル等も見する必要があります。

- ③ 全員の患者さんに対して必ず診なければならないのは免疫力を高め治療効果を上げるために必要です。それには・・・

基本穴にはミトコンドリア、ATP、磁気をみます。

基本穴(天突、気海、関元、鳩尾、右曲池、左足三里、大椎) は何故必要なのか

説明しましょう。中国の文献に健康穴として謳われております。

- この気海丹田の気海は、元気を収め養う源泉です。丹田は神薬を精錬して寿命を保つ中心地です。
- 関元のツボを刺激して行う腹式呼吸法により、ストレス・精神疲労などにも、効果があります。丹田の丹は朱色で、心臓の色であり、心は、精神活動を統制する働きがあるところから、精神の要の場所とされてきている心を意味します。
- 鳩尾には自律神経が集中しているので、鳩尾が固い人は常に身体が緊張していて呼吸が浅くなっています。また鳩尾は敏感で、ストレスが溜まるとあっという間に固くなってしまいます
- 天突は咳や喘息など、呼吸器の病気に効果がある他、言語障害、顔面充血にも効果がある。「気」と称するエネルギーの出入り口：ノドと胴体（胸腔、腹腔）を結ぶ通路上の大きな物理的「関門」とされています。ですから、原因の如何に関わらず、この部分にストレスがかかっていると考えられる症状の多くに鋭い効果を持つツボです。
- 曲池は胃腸の調子を整え、腕や肩のだるさにも効果があります。炎症を鎮めて、免疫機能を高める作用があるので、消化器系を活発に新陳代謝を高める
- 足三里は胃に気力がないときに生命エネルギーを送り込んでくれるツボです。免疫機能を高め、消化器全般の機能に対して効果を発揮します。
- 大椎は体表を邪気から衛る働きを有しています。風邪から体を衛るには体表に流れる陽気が充実していることが大切ですが、そのポイントのツボが大椎穴です

ミトコンドリア

ヒトや動物の細胞の中で、エネルギーを作り出しているのがミトコンドリアという細胞内小器官です。細胞内の発電所にたとえることができます。ミトコンドリアは、食べ物から取り出された水素を、呼吸によって取り入れられた酸素と反応させて、その時に発生するエネルギーを使ってATP(アデノシン三リン酸)という物質を合成します。ATPは、神経細胞が興奮したり、筋肉が収縮したり、肝臓が物質を合成したりする時に消費されます。電気を貯められないのと同じように、大量のATPを細胞内に貯めておくことはできません。そこで、ATPの必要量に応じて、ミトコンドリアは水素や酸素をすみやかに反応させたり、あるいはゆっくり反応させたりして、呼吸の速度を調節しています。運動をすると呼吸や心拍が激しくなり、休むと次第におさまります。これはミトコンドリアの活動を反映している。

ミトコンドリアAパターン解説

- AAA (ATPases associated with diverse cellular activities) ファミリー蛋白質は、(54 アミノ酸からなる低分子タンパク質が AAA のアミノ基を修飾保護すること、さらには同タンパク質が各生合成酵素が効率よく認識するためのキャリア (足場) となって機能している。) リング状のオリゴマーを形成し、多彩な細胞機能にかかわる。蛋白質やその複合体の立体構造を ATP のエネルギーを使って積極的に変換する新しいタイプのシャペロンである。そのおもな作用は、基質蛋白質の立体構造を解きほぐしたり、蛋白質複合体を解体・変形させることである
- *GLUT1* は、脳や赤血球に存在する糖輸送担体で、インスリン非依存性にグルコース取り込みをする。

フラビンアデニンジヌクレオチド (flavin adenine dinucleotide、**FAD**) は、いくつかの代謝反応に必要な酸化還元反応の補因子である

細胞の核以外の細胞質にある遺伝子。葉緑体やミトコンドリアなどに含まれ、細胞質遺伝に関与する。細胞質遺伝子。

- ミトコンドリアプロセシングペプチダーゼ MPP はミトコンドリアタンパク質前駆体の N 末端輸送シグナルを特異的に切断する。
- mtDNA ミトコンドリア膜タンパク質群およびそれらをコードする遺伝子群
- mitoPLD ホスホリパーゼ、リン脂質代謝産物を介して、細胞内小胞輸送から、細胞運動、そして細胞の増殖・生存まで、様々な細胞機能に関与している。
- 卵や精子をつくる大元となる細胞の名称です始原生殖細胞は発生の比較的早い時期に分化し、体細胞分裂を 2 度して雄は精原細胞。雌は卵原細胞になります。
- 天然アミノ酸シトルリン+ミトコンドリア分裂+AAA+GLUT1+FAD+寿命遺伝子A1+核外+寿命遺伝子+過酸化水素+MPP+mtDNA+mitoPLD+ミトコンドリア遺伝子+始原生殖細胞
- 磁気・・・1~20
- 活性酸素 1~10 抗活性酸素,SOD、8-ヒドロキシdGMP

磁気

ビルやマンションの中での仕事や生活、電車や自動車での移動など、現代人はまるで鉄カゴの中で生きているようなものです。鉄は空気に比べて、数100～数1000倍も磁気を吸収しやすい。ということは、鉄筋・鉄骨コンクリートの建物の中では、自然環境よりも極端に少ない地磁気しか浴びていないということになります。ちなみに日本周辺の自然環境における地磁気のエネルギーは約0.5ガウスだが、それがたとえば自動車の中では約0.25ガウスと、半分近くに減ってしまう。このような自然現象としての地磁気減少に加えて、鉄に囲まれた生活によって磁気が遮断されることが、現代人のさまざまな心身変調の原因になっているのではないかと考えられている。こうした観点から、1957年以来、生体と磁気との関連を研究している中川恭一博士（元・東京いすゞ病院長、現・「磁気と生体」研究会会長）らの研究グループは、現代人には「磁気欠乏（不足）症候群」ともいうべき病的状態が存在することを指摘している。代謝能力の低下や、白血球の減少など、さまざまな生体機能の乱れが起こることも報告されている。実際痛みが磁気のみで消失する場合もあります。

活性酸素

ちょっとしたキッカケで「活性酸素」というものに変身する。そして、この活性酸素こそが、さまざまな老化現象を起こす真犯人ではないかと考えられている。原子核のまわりの電子が2コでペアになっているのが、いわゆる安定した状態です。そこで、不対電子（フリーラジカル）をもった不安定な活性酸素は、何とかして自分は安定しようと悪さを考え、あたりかまわず近くの分子から電子を奪い取ってきてしまう。これが「酸化させる」（サビさせる）ということです。

こんな具合に体内の細胞を酸化させ、細胞の正常な働きを失わせ、その結果、老化やいろいろな病気を引き起こす。シミやシワなどのほか、ガン・動脈硬化・糖尿病・老人性痴呆・白内障といった大変な病気の引き金にもなるといわれている。40歳を過ぎるとシステムもだんだん老朽化し、活性酸素に抵抗できなくなってくる。

老化や病気を防ぐためには、できるだけ活性酸素を発生させないような生活の工夫と、酸化防止システムの強化（サビ止め＝抗酸化物質が体内でたくさんつくられるような食生活をする）ことが大切です。この様な意味からビタミンEやβカロチン、カタラーゼ、8-ニトロGMP（8-ニトログワノシンサイ

クリック1リンサン) 抗活性酸素 (SODスーパーオキシドディスムターゼ) に必要であるから基本穴に用います。赤池教授らは、体内で作られ、血管拡張などの働きを持つ「環状グアノシン1リン酸 (cGMP)」という物質が、一酸化窒素と結び付くと、**ニトロ化環状グアノシン1リン酸 (8-ニトロcGMP)** という新しい物質になる。

この物質も血管拡張の働きを持つが、その効果はcGMPの約100倍に達した。さらに8-ニトロcGMPが細胞内のある種のたんぱく質と結びつくと、活性酸素を減らす酵素をたくさん作り出すことも明らかにした。活性酸素は、たばこやアルコール、油の取り過ぎなどで多く発生するといわれ、動脈硬化やがんなどの原因の一つとされている。

上記を貼附することにより免疫機能が上がりATPが20の人でも健康状態のATP5になり、諸々の疾病に対する治療効果をあげるために必要な基本穴になります。

最初は痛みから始めた方が即効性で確認しやすいからいいのでは？

答え

痛みを訴える患者さんは多い。痛みは自覚症状がハッキリしていますから治ったか、痛いかを確認できます。しかも初診者の先生には探索棒をどれだけ持てばいいのかわかりませんから最低必要な本数とカラーをセットにしたDVDを用意しておりますから、これから手始めに挑戦してみたらいいと思います。DVDを見てツボに探索棒を当て痛みが取れたかどうか確認しながら正しければ即効的に痛みは取れます。

馴れるに従い簡単にできるようになります。それから頑固な痛みなどにも挑戦し徐々に必要な探索棒を揃えたらいいと思います。

探索棒を揃えるにしても次の点の質問に答えて下さい

① 病気によってはどの探索棒で見たらいいのかわからない？

答え

今回その為に「症候別探索棒貼附箇所」として具体的に700病名について症状とそれに対する最低の探索棒を用いてツボはどこに貼ったらいいのか詳しくCDに説明していますからご覧になればすぐわかるようになっております。

② 探索棒一覧表では多すぎて探すだけ大変で見てもわからない何か方法は？

答え

PC で簡単に見つける方法として Ctrl と F をタッチしたら表示が出ます。そこに知りたい病名を入力し検索しますとすぐ出ます

③ カラーだけでは何故いけないのか、どうして探索棒が必要なのか

答え

よくカラーのみを用いて診断治療したりする人がいますが必ず誤診につながります。実験すればすぐわかります。波長がランダムになり探索棒のようにコヒーレントでないため誤診や誤ツボにつながる恐れがあります。特に微妙な差のある同色系は非常に多く存在し全て反応したりする欠陥は電波暗室（周波数を測定したり外部の電磁波の影響などを調べる実験室）の実験でハッキリ証明されております。その時探索棒も実験し、普通の金属棒でも同じランダムな結果が出ることもわかり 15センチの長さ限定し中を空洞にコヒーレンスが生じた事も全て当時の松下電器の科学者2名、と十数人の会員立ち会いの下に証明されたことは論文にも書いております。従って探索棒で見るときにも下の部分を握っててみると誤診することは誰でも実験すればすぐわかります。必ず上の方（図参照）を持たなければなりません。



シールにカラー

正しい持ち方

間違った持ち方

④ 反応した探索棒カラーはどこのツボに貼るのか（カラーの大きさ、シールの大きさなど含めて）

答え

CD「症候別探索棒貼附箇所」を開き病名を見ればどの探索棒が必要なのがわかります。その中にツボのどこに、どのカラーを貼ればいいのか番号で書いておりますから「ツボマップポスター」を見ればハッキリわかります。ここに反応したカラーを 0,5 ミリくらいの大きさに切ったものを貼ります。同

じ番号が重なりますから1枚のシールに図のように纏めて貼ればよいのです。ツボはマップ参照にパワーテストで先ほど説明したように見てください。重く感じた場所・閉じた場所が正しいツボです。

わかりやすいツボの一覧表のようなものはないのか？

答え

診療室に貼りよく見えるように作られたポスターを見ながら位置を覚えてください。

最初は多すぎて解りにくいと思いますが馴れるに従い、よく使うツボから自然に覚えてくると他のツボもわかりやすく覚えられます。

⑤ 貼ってから効果はどれくらい持続するのか？

答え

1回の治療で治癒する痛みの疾患もありますが、一般的に1週間から10日は持続します。持続期間の調べ方は痛みが再発した日を換算してもわかりませんが、貼ってあるシールをはがしてその上からシールと同じ疾患探索棒を当てゴムをつけた指が重くなったり閉じればカラーの寿命は消失したものと見ます。貼り替えなければなりません。

病気の重さ（重傷度）によって違います。光集合体（論文参照）を用いることにより持続効果は違いますが、特に末期癌の疼痛や数十年来の膝の痛みなどで苦しんでいる患者さんなどは1日しか持たないこともあります。その場合痛みの種類が30~40種類くらい反応しこれだけ貼っても3日しか持たない場合もあります。消失する前に取り替えますと貼り替えるたびに持続期間が延びていくことがわかります。

⑥ シールに負ける患者さんには何か方法は？

答え

現在色々工夫して実験しております。シールを貼ることにより角質層バリア機構を破壊するために水疱が出来たりただれや痒みが出ることで、これを防止するために板硫酸バリウム、バリア機能のカラーを各シールに併用することによってある程度塞げる効果があることがわかりました。まだ何か無いかと研究中です。又シールの糊の改善などメーカーに要求しております。

⑦ 診断途中にスタッフがよく自分の大腿部を叩くのは何故ですか

答え

ファンタム現象により同じ色々な波長を持つことによって発生する同調波を打ち消すことを目的としておりましたが、しかし叩くだけでは実際実験してみると全く効果がないことがわかりました。しかし同波長の探索棒を持ち叩くと打ち消しあってファンタム現象は消失します。今では同調波防止のカラーが出来ていますから心配入りません。次ぎに診断途中に体調変調や姿勢や動作によって一時的に反応が不確化になる場合がありますのでその時に松果体石灰化探索棒を一時的に持つ事により正常化しますから時々連続して行う場合は確認してください。

⑧ 姿勢によって反応が違う場合がありますか？

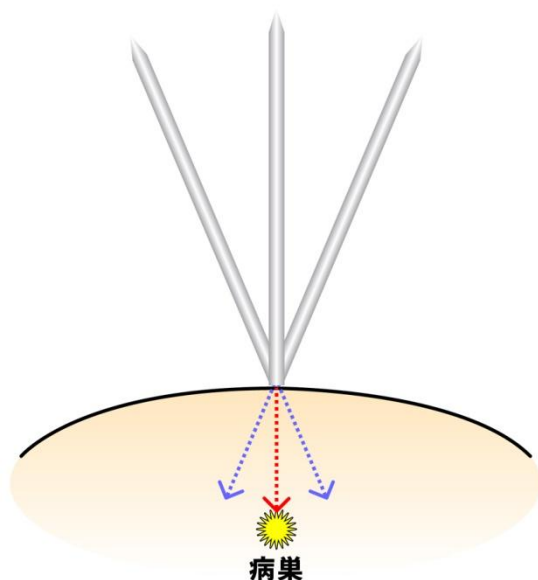
答え

頚椎や腰部に異常がある場合、姿勢によって反応が違いますから検者やアシスタントの姿勢で誤診する結果を生むことになり得ますから首を前に曲げた時や腰をかがめたとき等に正しいパワーテストが出来るかなど確認する必要があります。検者、アシスタント両者常日頃から確認することです。何かおかしいと感じたときにすぐ対処できます。

⑨ 何故探索棒でツボを選択するとき皮膚面に対して直角でなければならないのか

答え

直角に見ないと探索棒を斜めにして見た場合はポイントがずれて別の場所を指すようになるから貼附しても効果がありません。常に病巣に対して直角（皮膚は体系に沿って丸みを帯びています）に見なければなりません。（図参照）



シール貼附により角質層破壊するので皮膚 27 番に必ず皮膚パターンDを貼附するようにして下さい。